

会議記録

- 会議名 丹波市市島地域市立小学校統合準備委員会
第18回 竹田・前山地域部会
- 日時 令和6年1月29日（月）19:30～20:20
- 場所 ライフピアいちじま 研修室
- 出席者 委員：青木 修、葛野 達也、吉見 勝也、高橋 尚子、余田 紀章
余田 亜美、中井 隆文、西山 啓介、足立 和宏、植木 政行
浅田 尚克
教育委員会：片山教育長、足立部長、足立課長、安平副課長、船越係長、河南、
小田

1 報告・協議事項

(1) 開校に向けた現在の進捗状況の報告

事務局より資料2のとおり現在の進捗状況について報告した。

(2) 統合準備委員会設置要綱の改正

事務局より資料3のとおり、丹波市市島地域市立小学校統合準備委員会設置要綱の改正（令和6年4月1日施行）を提案したところ、承認された。

(3) その他

令和6年度統合準備委員会委員の選出について、事務局から口頭で依頼した。

最後の地域部会となることから、これまでの統合協議の経過を振り返り、委員一人ひとりから感想や意見をいただいた。最後に片山教育長からお礼を申し上げた。

<委員の感想・意見>

委員：ここに至るまで長い歴史があり、何度も協議を重ねられた。地域の中でも協議を重ね、より良い方向に向かっていけたと思う。安全で安心できる竹山小学校となるようよろしく願いたい。

委員：大変な時期もあったけれども自分も子どもも竹山小学校をすごく楽しみにしている。竹山小学校が明るい学校で、みんなで楽しく過ごせる学校になることを願っている。

委員：校章や校歌といった生涯に渡って思い出に残る重要な会議に責任をもって参加させてもらった。竹山小学校が一日も早く地域のシンボルとして定着するとともに、前山地域としてもこれを機会に発展していくことを期待している。

委員：とりわけ通学支援については様々な配慮をいただいたことに感謝している。12月にPTA会長と打ち合わせをしてスクールバスを利用する際の決まりを作ったので、2月のプレ登校で確定させていきたいと考えている。子どもたちが仲良くなれるよう合同授業などを地域の中で進められ、子どもたちは希望を持ち、未来に明るい気持ちでいる。また、学校が地域の中からなくなることは寂しいけれども、これを機会に前山地域で色々なふれあいをして前山地域の良さを見直して

いくなかで、竹山小学校をもとに新たな地域づくりを進めていこうと地域で取り組まれていることを嬉しく思う。竹田・前山両地域で新たな小学校をもとにした地域づくりが出来ることに安心している。

委員：閉校がいよいよ迫ってきて、学校は様々な象徴であると感じている。ここまで至ったのは、地域の方や保護者の方のご理解があつてこそだと思ふ。地域の中で様々な議論をしながら、子どもたちを中核に考えていただいた結果に対して、教職員ともにしっかり引き継いで頑張っていきたいと思ふ。

委員：事務局から丁寧に説明があり、地域に寄り添っていただいたことでスムーズな協議が出来たという印象である。前山地域と竹田地域で違いはあれども、温かく素晴らしい地域であると実感している。今後も、子ども園と小学校との連携を密にして、幼小連携による素晴らしい竹山の教育が進むように取り組んでいきたい。

委員：最初は小学校がなくなることを残念に思っていたが、統合により新たな小学校ができる場に立ち会えて良かったと感じている。良い小学校になってほしいと思ふ。

委員：たくさんの方々のご尽力があつてここまで来たのだと身をもって感じており、良い経験をさせてもらったと思っている。竹山小学校が素敵な小学校になることを願っている。

委員：会議に関わるなかでだんだんと統合について考えるようになり、校章や校歌が大事であることを再認識した。来年からの児童が竹山小学校に楽しく通ってもらえたらいいと思ふ。

委員：統合協議を行うなかで非常に多くのことを決めていかないとはいけなかったが、地域に寄り添ってもらいながら準備いただいた結果、安心して竹山小学校に通わすことができる状態となったことに感謝申し上げる。そういった環境の竹山小学校で子どもたちが育ち、また、育った子どもたちが地域を盛り上げてくれるような良い循環になればと思ふ。

委員：1校統合に反対していたが、認定こども園単位での統合に決まって良かったと地域の中で言われた。学校がなくなることで地域が疲弊するという意見もあった。前山小学校の児童を迎えるにあたっては竹田地域としても最善を尽くし、前山地域の方にも行事に参加いただくなど両地域の良さを共有してほしいと思ふ。協議を進めていくなかで、これからの時代を考えると統合も致し方ないと考えるようになった。これまで協議いただいた委員の皆様には感謝申し上げます。

<教育長よりお礼>

教育長：皆さま方には、平素から学校運営並びに教育行政に対しご協力を賜り厚くお礼申しあげます。現状を変えることは難しく、何をするにも困難や壁がありますが、委員の皆さまの意見を聞きますと、建設的で前向きで温かい言葉をいただきましたことにお礼申し上げます。

平成24年に市島地域の自治振興会長、保育園長、認定こども園長、小・中学校長、保育園保護者、認定こども園保護者、小中学校PTAから選出された委員を構成員とする、「市島地域のこれからの教育を考える会」が発足されました。平成30年2月まで計19回の協議を行い、令和3年度から統合準備委員会が設置され、統合の形態や統合場所、校名、遠距離通学支援の決定等、委員の皆様方の並々ならぬご尽力により、この4月には開校を迎える運びとなりました。「市島地域のこれからの教育を考える会」から11年という長きにわたり、地域の皆様、委員の皆様のご協力をいただき、ここまでたどり着くことができたと思っております。

4月から新たにスタートする竹山小学校では、校長先生や先生方と力を合わせ、

また地域の協力を仰ぎながら素晴らしい学校にしていきたいと考えています。子どもを主語にした教育を掲げ、子どもを真ん中において教育委員会としても頑張っていきます。第2次丹波市教育振興基本計画の基本理念である「ふるさとを愛しこころ豊かでたくましい人づくり」が実践できるよう、保護者の皆様、地域の皆様と手を携え、努力して参りますので、今後ともご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます、お礼のあいさつとさせていただきます。

2 次回日程

開催なし（今回の地域部会をもって終了）